

## 巻頭言

# 図書館資料のいろいろ

図書館情報センター館長 二宮克美



本学の図書館は、2004年(平成16年)大学開学50周年の新館増設を機に「図書館情報センター」と改称しました。

図書館はいわゆる図書の集積場所(蔵書)だけでなく、視聴覚資料、学術情報の収集・検索さらには発信といった新たな役割をもつものとして、図書館情報センターと名付けられたとのことです。

大学設置基準第三十八条に「大学は……図書、学術雑誌、視聴覚資料その他の教育研究上必要な資料を、図書館を中心に系統的に備えるものとする。図書館は、前項の資料の収集、整理及び提供を行うほか、情報の処理及び提供のシステムを整備して学術情報の提供に努める～ものとする。」と述べられています。図書館としての大事な業務の1つとして、まさに視聴覚資料の収集があります。

図書館情報センター3階には、視聴覚学習センター(AVセンター)という施設があります。DVDやビデオの他にもCD、LD、マイクロフィルムなどの各種視聴覚資料を利用できます。

多目的ホール、個人の利用に供する学習室、グループ学習室、AVブース室などのスペースがあります。

ビデオテープ約11,500点、DVDは約5,700点、CDは約2,000点という品そろえです。授業教材に役立つ資料だけでなく、広く学問を知る補助資料が数多くあります。また、本学映画部選定の「日本映画の底力」といった企画コーナーやオペラや交響曲などクラシック音楽などの資料も充実しています。

平成28年度のAVセンター資料借り出し状況は約13,000件で、芸術・美術のDVD借り出しがその半数の7,700件でした。しかし、資料借り出し件数は、年々減少傾向にあります。

是非、3階にまで足を延ばして、図書以外の視聴覚資料を活用してください。

